

脳腫瘍

診療ガイドライン

2019年版

1 成人脳腫瘍編・2 小児脳腫瘍編

Practical Guidelines for Neuro-Oncology 2019

特定非営利活動法人 日本脳腫瘍学会
The Japan Society for Neuro-Oncology

編集

一般社団法人 日本脳神経外科学会
The Japan Neurosurgical Society

監修



推奨グレードの決め方	
1	エビデンスレベル
2	エビデンスの数の多さ, 結論のばらつき
3	臨床的有効性の大きさ
4	臨床上の適用性
5	害やコストに関するエビデンス

5 保険承認, 保険適用状況の記載

CQ ごとに解説文中に保険未承認, 保険適用外の薬剤の記載がある場合は, それぞれ注意として示している。

6 外部評価

2016年版では, 本ガイドラインは以下の評価を受けた。

1. 日本脳腫瘍学会会員からのパブリック・コメント
2. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術委員会の評価
3. 国際医療福祉大学市川病院 (旧化学療法研究所附属病院) 人工透析センター・一般外科教授

吉田雅博先生による, 主に AGREE II による評価

4. 一般社団法人日本癌治療学会がん診療ガイドライン評価委員会による評価

なお, 3章: 中枢神経系原発悪性リンパ腫は, 上記に加え,

一般社団法人日本血液学会造血器腫瘍診療ガイドライン作成委員会の評価

も受けた。

2019年版では, 一般社団法人日本脳神経外科学会 学術委員会 ガイドライン対応委員会の評価を受けている。

7 資金源と委員の利益相反関係

本ガイドライン作成の資金源は, 特定非営利活動法人日本脳腫瘍学会, および厚生労働科学研究費「希少癌診療ガイドラインの作成を通じた医療提供体制の質向上」(研究代表者小寺泰弘) による。

利益相反については, 特定非営利活動法人日本脳腫瘍学会規定により委員の自己申告を集め, 同学会 COI 管理委員会によって審査を行い, その作成と利益相反に問題のないことを確認した。脳腫瘍ガイドライン拡大委員会の構成委員, ガイドライン改訂ワーキンググループ委員の利益相反は, 日本脳腫瘍学会のウェブサイトの開示する (<https://www.jsn-o.com/guideline3/index3.html> 参照)。